

ふくおかフィナンシャルグループについて

グループ経営理念

ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する
金融グループを目指します。

● 高い感受性と失敗を恐れない行動力

様々な情報や世の中の動きにいつも好奇心のアンテナを張り、敏感に反応できる感受性と、様々な場面で失敗を恐れずに行動を起こすチャレンジ精神を常に磨くことです。

● 未来志向で品質を追求

意識を少しだけ未来におきながら、着実に進化させる。人々の役に立つための真に良い商品やサービスを最良のマナーで提供することがFFGの使命です。

● 人々の最良な選択を後押しする

お客さまやパートナーと共に考え、悩み、選択のための後ろ楯となることが、FFGの目的であり、存在理由なのです。

これらによって、お客さまや地域社会、株主の皆さま、そして一緒に働く仲間にとっても、価値創造のパートナーとして認められることを目指していきます。

グループブランド

ふくおかフィナンシャルグループでは、グループ経営理念を共通の価値観として行動し、お客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまにとって真に価値ある存在であり続けるための約束として、『コアバリュー』を表明し、ブランドスローガン『あなたのいちばんに。』を展開してまいります。

● ブランドスローガン

あなたのいちばんに。

● コアバリュー（ブランドスローガンに込められたお客さまへの約束）

- ・いちばん身近な銀行
お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。
- ・いちばん頼れる銀行
豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。
- ・いちばん先を行く銀行
金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

● シンボルマーク



● ログタイプ

ふくおかフィナンシャルグループ
Fukuoka Financial Group

- ふくおかフィナンシャルグループの名称は、九州の顔とも言われる『ふくおか』を冠しました。『ふくおか』の持つ視覚的イメージ、音の響きが、グループの成長、躍進、安定を表しています。
- シンボルマークに込めたメッセージは、『つながり＝リング（輪）』です。地域を結び、人と人、企業と企業を結び存在でありたいとの思いを躍動感あるリングで表しています。
- 青い色は、九州の誇る『鮮やかな海、空』を表し、県境も組織の枠も超えて、地域を愛する気持ちを表しました。

グループ概要

福岡フィナンシャルグループは、グループ全体のガバナンス態勢の強化およびリスクコントロール態勢の確保、ならびに内部管理態勢の構築をはじめとした持株会社としての機能(子銀行およびグループ各社の経営管理)を適時適切に発揮するため、以下の経営機構・業務機構体制で運営にあたります。

コーポレートガバナンス体制

■ 取締役会・取締役

取締役は14名以下(社外取締役を含む)とし、法令・定款で定める事項のほか、グループ経営に係る基本方針の協議・決定や、子銀行の経営管理、業務執行等における重要な事項についての意思決定を行います。

■ 監査役会・監査役

監査役は5名以下とし、取締役の職務執行状況の監査のほか、監査部・会計監査人と緊密な連携を図りながら、グループ全体の業務および財産の状況等についての調査を行います。また、監査役会において、グループ全体の監査に係る基本方針や監査計画、監査手法のほか、監査に関する重要な事項等についての報告、協議、決定を行います。

■ 監査役室

監査役制度を有効に機能させるため、監査役をサポートする専属スタッフを配置します。

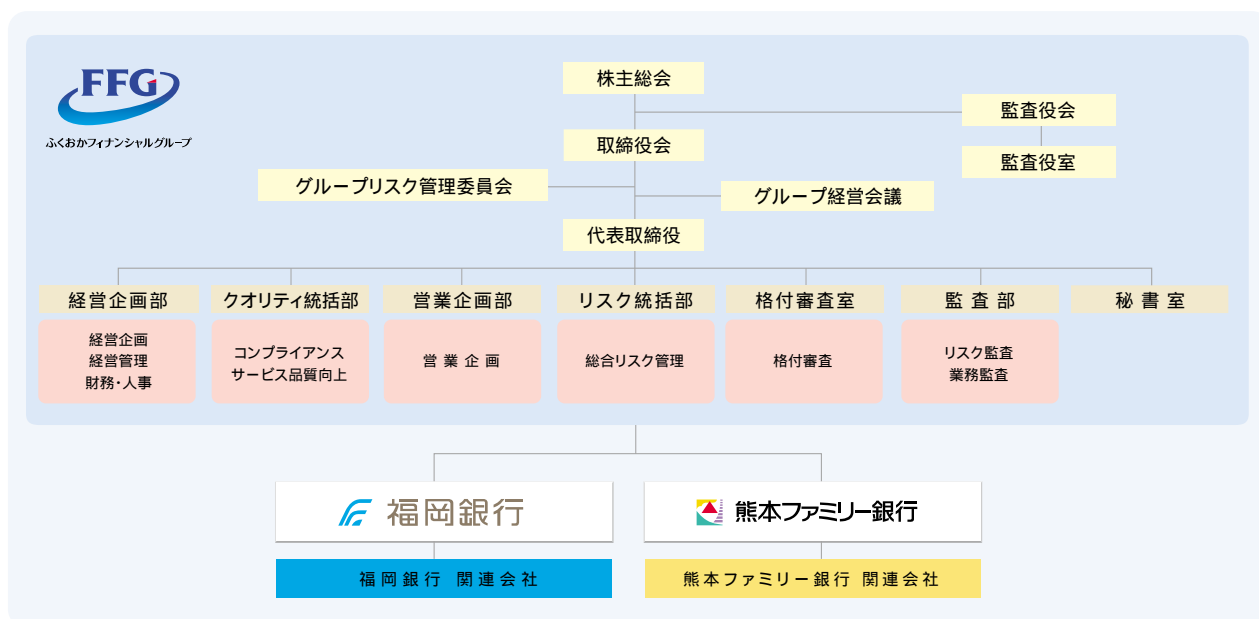
■ グループ経営会議

取締役会で定める基本方針や委嘱された事項に基づき、グループ経営計画やグループ業務計画等の業務執行に関する重要な事項を協議します。

■ グループリスク管理委員会

グループ全体の各種リスク管理態勢に係る協議のほか、資産ポートフォリオ管理、コンプライアンスに関する事項等についての協議・報告を行います。

● 組織図



グループ概況

●平成19年3月末(単純合算)

(単位:億円)		福岡銀行	熊本ファミリー銀行	2行単純合算
資産・負債	総 資 産	79,840	13,165	93,005
	貸 出 金 (部分直接償却後)	53,688	9,806	63,494
	有 価 証 券	20,443	2,342	22,785
	預 金 + N C D	69,324	11,934	81,258
収益	コ ア 業 務 純 益	600	106	707
	当 期 純 利 益	330	▲570	▲241
従 業 員 数		3,537人	1,074人	4,611人
営 業 拠 点 数		170店	78店	248店

FFG中期経営計画の概要

FFG中期経営計画名称:「FFG第一次中期経営計画」
FFG第一次中期経営計画期間:2007年4月～2009年3月(平成19年4月～平成21年3月)の2ヵ年

	 福岡銀行	 熊本ファミリー銀行
経 営 名 称 計 画 期 間	中期経営計画2007 2007年4月～2009年3月(2ヵ年)	中期経営計画2007 2007年4月～2009年3月(2ヵ年)
目 指 す 銀 行 像	期待を超える銀行	地域になくてはならない銀行
基 本 方 針	知と行動の総力展開	攻めの経営・規律ある経営

FFG「第一次中期経営計画」の策定に合わせ、福岡銀行は中期経営計画の目標指標の修正を、熊本ファミリー銀行は新しい中期経営計画の策定を行いました。

両子銀行は、FFGグループ中計のもと、各々の強みを活かした営業戦略の展開と、グループ力を活用した高度な金融サービスを提供するとともに、サービス品質の向上を図ることで、福岡・熊本両県での顧客基盤を拡大してまいります。

FFG第一次中期経営計画の目標とする経営指標

● 中計最終年度(平成20年度)

FFG「第一次中期経営計画」最終年度(20年度)における、目標とする経営指標は、「連結当期純利益」「連結不良債権比率」「連結ROE」の3指標とします。目標とする3指標以外の指標「連結自己資本比率」「連結Tier比率」「外部格付」は、「第一次中期経営計画」のシナリオを前提に次のような水準を見込んでおります。

FFG 福岡おカフィナンシャルグループ		金利横這シナリオ	金利上昇シナリオ
目標指標	連結当期純利益	420億円	460億円
	連結不良債権比率	1%台	
	連結ROE	8.0%	8.5%
その他の指標	連結自己資本比率	10%	
	連結Tier比率	8%	
	外部格付	AA格取得	

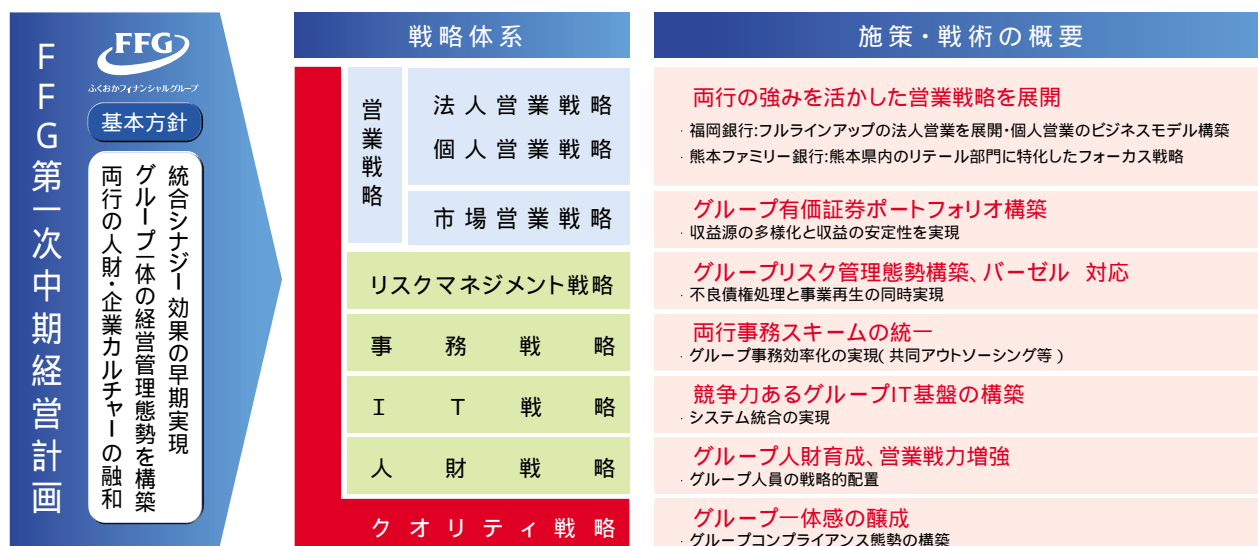
福岡銀行		金利横這シナリオ	金利上昇シナリオ
目標指標	コア業務純益	730億円	790億円
	当期純利益	380億円	415億円
	不良債権比率	1%台	
	O H R	50%未満	47%
	中小企業等向貸出金残高	4兆円	
	福岡県内貸出金シェア	30%	

熊本ファミリー銀行		金利横這シナリオ	金利上昇シナリオ
目標指標	コア業務純益	150億円	160億円
	当期純利益	90億円	100億円
	不良債権比率	3%台	
	O H R	55%	53%
	中小企業等向貸出金残高	1兆1,000億円	
	預金残高	1兆3,000億円	
資産運用商品販売額		年間1,000億円	

FFGの中期経営戦略

FFG「第一次中期経営計画」は、グループガバナンス態勢を確立し、両行営業戦略の融合により顧客基盤を拡大するとともに、事務・ITの共通化および人材の融和のもとすメリットを追求することにより、統合シナジー効果を早期に最大化することを基本方針といたします。

FFG「第一次中期経営計画」の戦略体系は、営業戦略、リスクマネジメント戦略、事務戦略、IT戦略、人材戦略、クオリティ戦略の6つの戦略で構成します。



福岡銀行の中期経営計画

●営業戦略・施策体系

福岡銀行の中期経営計画は、“サービス品質の向上”を“顧客基盤の拡大”に繋げる中計とし、県内シェア30%の達成に向けた戦略・施策を実施してまいります。

営業戦略では、競争力ある商品・マーケティング力を活用したフルラインアップの法人営業展開、クロスセルを核とした個人営業のビジネスモデル構築に取り組みます。

リスクマネジメント戦略では、リスクとリターンの統合コントロール体制を構築します。

事務戦略では利用者満足度を高める事務改革を実施し、IT戦略では、営業基盤を支えるIT基盤を構築してまいります。

人財戦略では、研修施設を充実させ研修体系を再構築し、人的資本の充実と戦略的配置を実施します。

クオリティ戦略ではグループ経営理念・ブランディングの浸透による企業カルチャーの変革に加え、コンプライアンス態勢の強化に取り組みます。

営業戦略・施策体系	
営業戦略	競争力ある商品・サービスの総合マーケティング展開 フルラインアップの法人営業展開 個人営業のビジネスモデル構築
リスクマネジメント戦略	リスクとリターンの統合コントロール
事務戦略	利用者満足度を高める事務改革
IT戦略	営業基盤を支えるIT基盤の構築
人財戦略	人的資本の充実と戦略的配置
クオリティ戦略 (企業カルチャーの変革)	経営理念・ブランディングの浸透 コンプライアンス態勢強化

熊本ファミリー銀行の中期経営計画

●営業戦略・施策体系

熊本ファミリー銀行の中期経営計画は、福岡銀行との営業戦略の融合と営業ネットワーク拡大による顧客基盤の拡大、事務・システムの共通化による効率化の追求、リスク管理態勢の高度化等に取り組みます。

営業戦略では、熊本ファミリー銀行の強みであるFace to Faceでのリテール営業を一層強化し、熊本県内のリテール営業に重点を置いた施策を展開してまいります。

リスクマネジメント戦略では、リスク管理の高度化とリスクマネジメント態勢を構築してまいります。

事務戦略・IT戦略では、福岡銀行と事務の統一化やシステム統合を実現し効率化を図ります。

人財戦略では、グループで人材育成に取り組み人的資本の充実と戦略的配置を実施します。

クオリティ戦略ではグループ経営理念・ブランディングの浸透による企業カルチャーの変革に加え、コンプライアンス態勢の強化に取り組みます。

営業戦略・施策体系	
営業戦略	Face to Faceによるリテール部門へのフォーカス戦略 リテール法人営業への集中的な戦力投入 住宅ローンと資産運用商品の加速度的増強
リスクマネジメント戦略	リスクマネジメント態勢の確立・高度化
事務戦略	事務の統一と効率化の追求
IT戦略	システム統合・競争力あるIT基盤の構築
人財戦略	人的資本の充実と戦略的配置
クオリティ戦略	企業カルチャーの変革 コンプライアンス態勢強化